

第2回 ポジティブアプローチ ワークショップ

Zoomを利用した
Web開催

【ポジティブアプローチの定義】

事故の発生を未然に防いだ成功事例のみならず、その事例が更なるレベルの事故に至る前に防げた理由を、ポジティブに評価し、なぜそのレベルで済んだのかという理由と、改善するとしたら何ができるのかという点に焦点をあてた取り組み方。

【今後の方針】

ワークショップを通して、レジリエンスエンジニアリングのミクロ（個人）レベルのアプローチからはじめ、メゾ（組織）レベルへの展開を考える。

申込受付開始（PSP会員病院）9/1～、（認定病院・その他）9/23～

開催日：10月30日（金）13時～16時10分

対 象

医療安全管理者等、医療安全に携わっている方

参加費

PSP会員病院：10,000円（税込み）、認定病院：15,000円（税込み）
その他：20,000円（税込み）

形 式

講義、グループワーク

参加方法

オンラインウェビナー参加と来場参加選択可

定 員

80名（来場は10名迄）（お申込み先着順）

会場（来場者）

日本医療機能評価機構 9階ホール
（東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル）

ワークショップ参加前に講義動画必見（視聴確認有り）

10月22日～10月29日までにオンデマンドにて配信

入金確認ができましたら視聴方法をご案内いたします

事前講義オンデマンドにて動画視聴 配信期間 (2020年10/22~10/29)

時間	講義動画項目	講師
30分	・レジリエンスエンジニアリング概論	長谷川
40分	・前向きな事例分析 (ポジティブインシデントレポート) 活用方法	辰巳
30分	・ジャストカルチャー概論	長谷川
30分	・Zoom手続き, Zoom 使用方法説明	事務局

10月30日のプログラム (*プログラム・講師は予告なく変更する場合があります)

13:00	10分	オリエンテーション・開会
13:10	10分	Zoom使用方法の説明
13:20	20分	オンデマンド講義の振り返り
13:40	20分	事例提示(一つのレポートを、I 的な視点で解説した後、II の視点から見直す)
14:00	10分	アイスブレイク
14:10	40分	グループでレポートを分析して、なぜそのレベルのインシデントで済んだのか、その理由を共有するにはどうしたらよいか。
15:00	40分	全体シェア
15:40	20分	グループでのデブリーフィング
16:00	10分	まとめ

申込受付開始

2020年9月1日(火)15時

協議会ホームページよりお申し込みください。

(会員IDとパスワードが必要です)

会員病院以外の申し込みは

9月23日15時~となります。

*ご登録いただいた個人情報は当機構の個人情報保護方針に基づき適正に管理いたします。

講師・ファシリテーター一覧

(敬称略)

長谷川 剛	上尾中央総合病院
辰巳 陽一	近畿大学病院
大久保 典子	下関市立市民病院
高塚 由紀子	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 介護付有料老人ホーム 浜名湖エデンの園
田中 健次	電気通信大学大学院 情報理工学研究科情報学専攻
長島 久	富山大学附属病院
廣幸 英子	有馬高原病院
皆川 宗輝	横浜市立みなと赤十字病院

お問い合わせ

(公財)日本医療機能評価機構 教育研修事業部 遠田・柴田

Tel 03-5217-2326(直通)